

提言 西川町の交通網整備について

提言の背景・趣旨

西川町（以下「町」という。）では、交通空白地帯の解消や高校通学、町の観光資源である月山への交通利便性を図るために、昭和 52 年度から路線バスを運行している。

また、平成 24 年 4 月の町内一校の統合小学校、西川小学校の開校に伴い、西川小学校及び西川中学校の児童生徒の通学のために、一般乗客との混乗でスクールバス（一部は純粋なスクールバス）を運行している。

さらに、高校通学及び町外への交通手段を確保するために、山交バスが運行している月山銘水館から寒河江までの路線バスの運行経費について寒河江市と共同で補助（平成 26 年度決算では町分 7,418,000 円）している。

路線バス（スクールバスを含む。）の運行路線、利用状況及び主な運行危険箇所は、次のとおりである。

(1) 路線バス（スクールバスを含む。）の運行路線

路線バスの路線は、岩根沢線、本道寺線、大井沢線、月山志津温泉線、小沼線、小山線、沼山線、虎屋酒造線、東部デマンド循環線及び大井沢・稲沢左沢線の 10 路線である。そのうち 1 路線（東部デマンド循環線）はデマンド路線として運行しているものの、利用人数は 5 人程度（年間）に止まっている。

スクールバスは 8 路線運行しており、そのうち 6 路線は路線バスの運行路線（一般乗客との混乗）であり、2 路線が純粋なスクールバスとなっている。

(2) 路線バスの利用状況

路線バスの利用状況は、平成 26 年度の一般乗客数が 10,944 人で平成 25 年度と比較して 1,199 人、12.3% 増加している。これは、平成 26 年度に開催されたデザインレーションキャンペーンの影響で大井沢線及び月山志津温泉線の利用人数が増加したことなどによるものと推測される。

しかし、平成 27 年度の 9 月末現在の一般乗客数は 5,683 人で平成 25 年度同期とほぼ同数となっている。

また、利用料金は、平成 25 年度が 2,627,020 円、26 年度が 3,022,500 円となっている。

(3) 路線バス（スクールバスを含む。）の主な運行危険箇所

主な運行危険箇所は、次のとおりである。

冬期間の路面凍結により滑りやすい箇所

ア 町道西川小学校線（フレッシュマートシブヤ脇～西川小学校前）の坂

イ 町道山岸二本松線の役場とケアハイツ西川の間から町道間沢海味線へ通じる交差点

ウ 町道山岸二本松線の西川駐在所とブナの森薬局の間から町道間沢海味線へ通じる交差点

エ 町道間沢海味線と町道海味小月山線の交差点

自転車専用道路と町道等の交差点

自転車専用道路を通行している中学生等が町道等の交差点で一時停止しないときがある。

保健センターの方から町立病院駐車場へ入る箇所

保健センターの方から町立病院駐車場へ入るとき一時停止しない車両があり、以前、スクールバスに追突した事案があった。

西川中学校前のスクールバスの待機体制

車両間隔を空けながらスクールバスが待機しているものの、西川中学校前において、部活動が終了し下校するときに、スクールバス等が一般県道小山海味線に連なって待機している。

提言内容

西川町の交通網整備について

西川町議会では、これまで町が運行する路線バスやスクールバスについて、さらには高校通学対策について町の取組状況等について質してきた。最近では、平成27年第3回定例会の一般質問で「高校通学体制の充実」について質してきた経過がある。

急速に少子高齢化が進むなかで、次世代を担う人材の育成や高齢者にとって住みやすいまちづくりのために、次の観点から早期に交通網整備についてアンケート調査や高校生の保護者との話し合いを行うなどして検討し、高校通学や町立病院へ通院する町民の交通手段を長期的に確保していく必要があると考える。

1 路線バス（スクールバスを含む。）の運行について

(1) 路線バスについては、中型バス以外にジャンボタクシーを導入し、現行路線で利用人数が少ない路線についてはデマンド方式で運行すること。

併せて、デマンド方式について、日本語表記など高齢者が理解しやすい表記や高齢者へ周知すること。

(2) 路線バスの停留所については、乗降者数が極端に少ない停留所を廃止するなどして見直すとともに、冬期間の安全確保を図ること。

(3) 路線バス（スクールバスを含む。）の運行危険箇所については、町と運行者が連携を図りながら、道路標識の山形県公安委員会への設置要望などを含め対策を講ずること。

2 高校通学及び町外への交通手段について

(1) 高校通学対策として、下校時には部活動を考慮し複数便運行しながら次の路線を確保すること。

月山銘水館～JR高松駅（山形市内及び山辺町内の高校への通学対策）

月山銘水館～寒河江（寒河江市内の高校への通学対策）

月山銘水館～谷地（河北町内の高校への通学対策）

月山銘水館以西（岩根沢、入間、本道寺、月岡、志津及び大井沢地区の通学対策）

3 山交バスの運行の見直しについて

(1) 山交バスが運行している月山銘水館から寒河江までの路線を寒河江市の経費負担を求めながら町が代替運行し、高校通学などの利便性向上を図ること。